

# 真行草

平成23年度  
11月発行

第4号

毎年1回発行

編集・発行 浜松医科大学弓道部OB・OG係 hamai\_kyudo\_ob@yahoo.co.jp

浜松医科大学弓道部 ホームページアドレス

<http://kyudohamai.sakura.ne.jp/>

## 新入部員は 22 人！！



今年度は新入生が 22 名（うち医学科 18 名、看護科 4 名）も入部してくれました。写真は 2011 年 9 月 浜松医大弓道場にて

錬士号を拝受して思ったこと

弓道部顧問 佐藤 清昭先生

OB、OG の皆さん、こんにちは。元気にご活躍のこととお慶びします。

先日、4年生の江上君から、OB・OG 会誌の原稿依頼がありました。「え？この前、書いたばかりじゃない？」……いやいや、時間のたつことのなんと早いことか！しかも六十を過ぎると特に早い……。

以下、今年の「部誌」に書いた内容と一部重複しますが、「錬士号」を拝受した時に思ったことを書いてみたいと思います。

昨年の5月、名古屋の日本ガイシ弓道場で錬士の審査を受けました。風の強い日で、袴がバタバタと音をたててひるがえる程でしたが、一次審査は落ち着いて行射することができ、束りました。ただ弓返りが80パーセントほどだったので、「うるさい範士の先生たちがどのように判断するか、微妙だな」と思っていました。結果はしかし「一次審査合格」。すぐに面接試験です。

面接員は宮内道廣（三重県）と佐竹万理子（和歌山県）両範士でした。いくつかの質問に「弓道教本とおりに」に答えた後、佐竹範士がおっしゃいました：「先ほどの射は立派でしたね。二次審査も落ち着いてやってください」……。ところが今度は甲矢をはずし、乙矢も的枠に当たってはね返されるという始末……。まだまだ修行が足りません。

ところがです……。錬士と教士の一次審査に合格した者には、（いつ頃からのことでしょうか？）「クリスマス・プレゼント」があるのです。つまり該当の年の錬士と教士の審査で一次審査を通過した者には12月に東京の明治神宮で「特別審査」というものがあり、「一次試験免除」で錬士号と教士号に挑戦できるのです。

私は昨年の12月、この特別審査を受けて合格しました。前日まで「どの弓で引くか」迷っていたり、当たりも乙一本だったりしましたが、名古屋での一次審査の結果がよかったお陰のようです。その時の審査員のお一人がやはり佐竹万理子先生で、妙な因縁を感じます。

さて大変月並みな内容で恐縮ですが、「諦めないことの大切さ」に触れて、この文章を終わりたいと思います。

私は五段に合格したのが平成4年ですから、爾来、19年目にして錬士に合格したことになります。この間、自分の頭には「仕事（研究と教育）」がまず第一番目の課題としてあったし、そして「私」面でも色々とありました。つまりこの18年の間は、「弓ひと筋」どころか、弓の握り方さえ忘れてしまった時期もありました。しかし今は、「諦めず」に、錬士の審査を念頭に弓道の修練をつづけてきて良かったと、つくづく思います。

「諦める」ことは簡単です。いつでもできます。しかし「諦めた」瞬間に、それまで自分がそのことに注

いできた時間と精神力とお金、そして人からの温かい手助けなどなどのすべてが「無」に帰してしまう。今回の錬士合格は私にとって、「諦めない」ことの大切さを再認識させてくれたいい機会でした。

\*ちなみに「失敗」や「挫折」は、「諦める」のとは違って、（そこから「立ち直る」可能性を残しているという意味で）何度してもよろしいと思います。

---

研究のすすめ

OB・OG会副会長

鈴木 洋行先生（平成6年卒）

みなさん、こんにちは。昨年に引き続き原稿を書かせていただきます。確か昨年原稿では、弓道部のことを影ながら応援して行きます！と書きましたが、本当に影の応援だけになってしまいましたこととお詫びいたします。弓道部のメール応援団とでもいいでしょうか。試合結果のメール報告を読んで、良い成績を収めたと聞くと晴れ晴れした気持ちになり、そうでなくても「まあ、まあ、この成績なら結構いいんじゃないか！」と褒めてあげるのはどのOB・OGの方々も同じ反応をしているのだらうと思います。これからも弓道部からのメールを楽しみにしております。

さて、私は長年住んだ浜松を後にして、今年6月より京都市に移住しました。生まれも育ちも静岡県、大学も同じ県内を選んだ私にとって、今回の異動は決断が必要でした。なにせ、海釣りや富士山を見ることが大好きな私にとって、海から遠い、富士山ずっと遠い、

という京都市はまさに異国の地のようなもの。どちらかという物静かでおとなしめな私が関西のノリについて行けるのだろうか？ ゆっくりペースで話をする自分のことを、関西の患者さんは最後までじい〜と耳を傾けてくれるのだろうか？ 京都のはんぺんは静岡と違って黒くないんだよなあ、めんつゆの色も薄いだろうか・・・などと色々なことに不安を巡らせつつ始まった京都暮らしも早3ヶ月。やっぱりはんぺんは白いし、人々は早口（に思える）けれども、同じ日本でも異なる文化で生きている人々と相対して正面に向き合っていると、それも楽しく感じている自分がいます。

～閑話休題～

さて、私は結果的に十数年大学に籍を置きました。その間、基礎的な研究もやりましたし、臨床にも携わってきました。臨床中心の生活となった今改めて思うのは、研究をやって本当に良かったナ、ということです。

内科医師は薬を使うことに長けているお医者さんです。薬剤の作用を考慮しつつ、その患者さんの病態に見合った薬剤をずばりと用いて治療する、適さない薬剤は使わない、同系列の薬剤であっても使い分ける、というのが内科医とするならば、研究を始める以前の私はきちんとした内科医ではなかったといえるかもしれません。なぜなら、それまでの私は薬の表面上のデータを知っているだけで処方をしている「物知り」

だけの処方医だった。それが今では、もっと深い視点から薬を使うことが出来るようになった。

研究に関わったというだけで、どうしてそういう変化が起きたのでしょうか？私が研究でやってきたことといえば、実験動物の腎臓をすりつぶして蛋白を抽出したり、培養細胞に目的の蛋白を発現させてその細胞がどう変化するのか、を検討してみたりと、そんなことです。それが自分の臨床能力とどう関係するのか？皆さんは不思議に思うかもしれませんが。研究をやっていると、本を読んで考えたり、人に聞いたりしつつ、自分なりのアイデア（仮説）をもってそれがほんとうかどうかを試して（実験して）、失敗してはまた考え直したり、といったことを数多く経験します。その過程では、一つのをヨコにしてみたり、タテにしてみたり、たまにはくるっと自分が後ろに回り込んでみたりして、あらゆる方向からそのものを見つめて検討する。そんなことをしているうちに、同じ物事は見る方向によって随分と見え方が違うんだなあ、ってそんなことに気づきました。

物事が見る立場によってまったく見え方が異なる。皆さんはそんなこと当たり前だ、と言うかもしれませんが。しかし私にとってこのことは大きな発見でした。最近の私は、今日の前にいる患者さんに対して、正面から見る（診る）、横から見る（診る）、ちょっと失礼して頭の上から、時には足の下から診てみる。そんな風にしながらか診察すると、同じ疾患でも個々の患者さんではいろんな違いがあることが分かり、それに合わせて様々な特性をもつ薬剤を使い分けるようにな

ってきた。それは研究をやったことが、結果的に私の臨床に対する態度を変化させたのだと思います。

それって反対に考えてみると、それまでの私がいかに一方向からしか物事を見ることができない堅物の人間だったか、ということの裏返しなのかもしれません。まあ、正直そうだったんだろうと思います。

結局学生の皆さんに言いたいのは、大学を卒業してから臨床一筋で働くのもよし、臨床と研究も両方手を出すのもよし、研究だけ頑張るのもまたよろし。それは実は、いつでも変更ができます。一生懸命にがんばることが大切です。学生時代に一生懸命に弓道に取り組む、そういった経験があるのとないのでは、皆さんの卒業後の進路にも大きく作用するんだろうなと思います。

偉そうなことを書きましたが、どうか弓道を思いっきり楽しんでください。卒業生の皆さんは、そんな弓道部員の姿に自分を重ねつつ、いい思い出に浸っていることと思います。そして関西へ遠征することがありましたら、どうぞご連絡をお待ちしております。影ながら応援したいと思います。



新入部員指導の様子

前主将挨拶

第23代主将 篠原 慧(医学科4年)

日毎に秋も深まり、風の涼しい季節となりましたが、浜松医科大学OB・OGの皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、昨年10月に開催のOB・OG懇親会ではお忙しい中沢山の先輩方にお越しいただき、

本当にありがとうございました。この場をお借り致しまして、お礼を申し上げます。

私ども学生も、道場の木札でお名前を拝見していた先輩方と実際にお話しさせていただき、先輩方から学生時代のお話を伺うことで、積み重ねられてきた伝統の重みを感じ、強豪校の一員としてさらに精進していこうと思いを新たにしました次第です。また先輩方から今もホームページを見ているよ、などと気さくにお声をかけていただき、卒業された後も私共後輩のことを気にかけて下さっていることに、本当に勇気づけられました。

今年は新生が22人入部し、弓道部は部員数60人を超え、西日本医学部弓道部内でも、浜松医科大学の学校内でも、有数の大規模な部活となりました。大学において弓道部がマイナーな存在として認識されるのが悔しかった身としては嬉しい気持ちです。しかし、ここまでの大部活となった今、個人がある程度自分の思うように行動していたのでは、その分悪いところは目立ってしまい、そして何より部活としてのまとまりを欠いてしまいます。部活への帰属意識をもち、自分からこの部活の一員として部活に貢献する、というある意味で部活と個人のギブアンドテイクが必要だと考え、部活の一員として自分が何ができるか考えてほしい、ということを部員をお願いしてきました。難しい要求

だったかもしれませんが、それでも結果として今の弓道部のいいところ、「全員で試合に臨む雰囲気」はより確固としたものになったと思います。団体メンバーは代表として精一杯引き、団体に入れなかった人も、みんなで団体を応援する。この雰囲気は、先輩から受け継がれてきたものとして、これからも浜松医科大学弓道部の礎と考え伝えていかねばならないものであると一年間の主将生活を終えた今、改めて実感しています。

これからは私も引退部員として、自分なりに部活のためにできることを考え、サポートしていきたいと思います。

この一年間、OBOGの先輩方の温かいご協力・ご支援誠にありがとうございました。卒業されてもいつも気にかけて下さっている先輩方が沢山いて下さることが、主将をやっていて本当に心強かったです。次期主将である桐戸君のもと、部員一同精進して参りますので、これからも浜松医科大学弓道部をよろしくお願い致します。

乱文ではございますが、前主将挨拶とさせていただきます。先輩方のますますのご活躍をお祈り申し上げます。時節柄、くれぐれもご自愛下さい。



新歓遠足の様子

新主将挨拶

第24代主将 桐戸 雄紀(医学科3年)

虫の声が秋を思わせるこの頃、OB・OG 会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。10月から主将を務めさせていただきます、医学科3年生の桐戸雄紀と申します。OB・OG の皆様が築き上げてこられた伝統ある部の主将を任されたことを誇りに感じ、また大きな責任に身が引き締まる思いです。

現在の弓道部ですが、喜ばしいことに今年度新入部員数が20人を超え、現役部員だけで50人弱という大所帯になりました。沢山の1年生が入部したことで、皆様からは例年にも増して多くのご援助をいただき、弓具を揃え快適に練習ができるようになりました。この場を借りて、ご協力いただいた皆様に心から御礼申し上げます。

さて、主将としての私の役目ですが、部員一人一人の意思を汲み取り、楽しく充実した活動を実現することのできる部の環境を整えていくことであると考えています。もちろん、弓道や部活に対する思い・姿勢が異なる人たちが一堂に会するわけですから、それをまとめあげることは決して容易いことではありません。しかし、試合で好成績をあげる強い部活や外から見ても立派に見える部活からは、やはり強い結束が感じられます。武道としての礼儀の面においても、射技においても、部員が高い水準の意識を持つことで、他大学に奪われてしまったトロフィーを取り戻すことができるよう、精進して参りたいと考えています。加えて、来年度は東国体の主管を任されており、浜医の名に恥じないような大会の運営を行うためにも、部員が一丸となって努力していかなければなりません。

また、今の部の雰囲気を作り上げているのは主に在校生であります、その中でもOB・OG の皆様が在校時代に築き、脈々と受け継がれてきたものがたくさん活きていることと感じております。さらに、皆様にはご卒業後にも多大なるご厚志をいただいております、感謝の言葉もございません。私たち学生がOB・OG の皆様にできることとして、今期もよりいっそう試合結果速報やホームページを充実させ、弓道部の今の姿をしっかりとお伝えしていきたいと考えています。なにより、皆様により多く勝利の一報をお伝えすることが出来れば、と思っております。

不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。末筆になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、略儀ながら新主将のご挨拶と致します。

副将挨拶

篠原 慶(医学科3年)

いよいよ秋も本番となり、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。10月より副将として部活の運営に携わらせていただくことになりました、医学科3年の篠原慶と申します。平素より、弓道部の活動に際しまして何かとご支援をいただき心からお礼申し上げます。

今年は1年生が今まで以上に入部してくれたこともあり、弓道部も60人を越える大所帯の部活となりました。現在部活も大変賑やかになり、個人1人1人が真剣に練習に取り組むことで、部活全体としても高い目標を持って練習に励むことができています。試合では団体メンバーだけで

なく、それ以外の部員も一丸となって応援し、全員がまとまって試合に臨めており、これが今の弓道部の強みだと確信しております。

このような素晴らしい部活を築きあげてきた先輩方の歴史を深く実感するとともに、部活の運営に携わらせていただくことは大変の引き締まる思いであります。これからも先輩方の意思を受け継ぎ、ますます弓道部がより良い部活になれるよう精一杯努力させていただきます。OB・OG会の皆様におかれましても、お身体のご健康、益々のご活躍をお祈りしております。そしてこれからも変わらぬご支援、ご指導のほど宜しくお願い致します。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。ご拝読ありがとうございます。

#### 副主将挨拶

角替 麻里絵(医学科3年)

10月から副将を務めさせていただきます、医学科3年生の角替麻里絵と申します。OB・OGの皆様には日頃から厚いご支援を賜り心から御礼申し上げます。

さて、今年は特に女子部員が格段に増え、今や現役部員は男女の人数がほぼ同じという状況です。正規練習以外の日でも道場がとても賑やかで、これだけ多くの熱心な後輩を引っ張っていくという立場に就かせていただけることに、喜びとともに責任の重大さを感じております。これからこういった後輩達も西医体・西看大など試合を盛り上げてくれることと思います。昨年度は、あと一步のところまで団体入賞を逃し悔しい思いをした試合がありました。私自身いつでも向上心を忘れず、女子の方も男子に負けずに活気づけていけるよう、力の限りを尽くす決意でいます。また、

部員全員がそれぞれ弓道部の活動を通して何かしらやりがいや楽しみを見つけてくれるよう、常に広い視野をもって努力してまいりたいと思います。何かと至らぬ点多いかと存じますが、今後とも皆様には変わらぬご指導、ご支援をよろしくお願い致します。

#### 看護主務挨拶

宮平 結里菜 (看護科2年)

清秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、格別にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、看護主務を務めさせていただくことになりました、宮平結里菜と申します。私自身不慣れな部分もありますが、先輩方が築いてくださった伝統を絶やさぬよう、精一杯努力して参りたいと思っております。

今年度の西看大では、団体戦3位に入賞することができました。惜しくも個人戦での入賞を逃してしまいましたが、今大会で学んだことを活かし、来年度に向けて、より一層射の向上に努めて参ります。また、医学科とともに、互いに切磋琢磨しながら、これからも日々精進して参りたいと思います。OB・OGの皆様には、今後とも変わらぬご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



平成二十三年卒業記念品  
右上の木札用の新しい木枠

OBOGの方々からご寄稿頂きました！

浜松医科大学耳鼻咽喉科

三澤 清先生（平成7年卒）

佐藤清昭先生、浜松医大弓道部の皆様、OB・OGの皆様におかれましては御健勝のことと拝察いたします。まず簡単に自己紹介をさせていただきます。私は、平成元年に浜松医大に入学し弓道同好会に入り弓道を始めました。週2回、鹿谷にあった市営の弓道場に、江田先生、村松先生、小栗先生、刑部先生にご指導いただき、市民の弓道愛好者の方々と弓道を習いました。2年時に、弓道部になり西医体に初参加しました。4年時に、たしか主将をやった記憶があります。5年時には、今の弓道場の場所に青空弓道場を造って、学内で弓道を始めました。卒業後は渡米するまでの8年間、仕事が早く終わった日に、弓道場で学生と弓を引かせてもらいました。帰国してから7年がたちますが、弓は残念ながら握っておりません。帰国後、聖隷三方原病院、遠州病院、昨年からは浜松医大で耳鼻科医をしています。聖隷三方原病院では片桐伯真先生、丸山先生、川口先生に、遠州病院では近隣で開業されている小出茂樹先生に、医大では鈴木洋行先生、高柳先生、山出先生、竹村先生など数多くの弓道部の先輩・後輩の先生とお仕事をさせていただき大変助かっています。学生時代のクラブ活動は非常に重要だと感じる日々です。今は、学生さんへの講義で4年生、5年生の弓道部員が声をかけてきてくれて、立派に弓道部が存在し続けていることに感激します。いつの間にか近況報告

になっていましたが、私は昨年、浜松市内に自宅を建築し、妻と長男、次男と神奈川から呼んだ私の両親との6人二世帯の生活をしています。妻も耳鼻科勤務医であるため、小学2年生と3歳保育園児の世話を手伝ってもらっています。それでも平日は、外来、手術、研究、外勤と時間が足りない毎日です。休日は、家の掃除、子供の行事、妻との会話（愚痴を聞く）など48時間では到底足りない生活です。いま私の日常で一息つける遊びは、庭の芝生の手入れです。真面目に草むしりを行ってれば（真行草）、芝生は育つと思っていましたが、そうではないことがこの夏わかりました。芝の生育には年月と経験が必要であることを知りました。自宅の庭で成功して物足りなくなったら、今度は弓道場の芝をきれいにしようかと思っています。

最後に、OB・OGの皆様をお願い申し上げます。弓道部は、大学の中でも部員数が多く、多くの大会で優勝するクラブに成長しています。クラブが大きくなれば我々にはわからない経済的負担も増えていると思われま。少しでも構いませんので弓道部のために継続的な支援をお願い申し上げます。



三澤先生とご家族



弓道部を通してのつながり

浜松医科大学小児科

川上 領太先生（平成21年卒）

暑さもずいぶん和らぎ、過ごしやすい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。光陰矢の如しとはよく言ったもので、つい最近に私自身が卒業したばかりだと思っていました。私が主将の頃に1年生だった医学科の後輩や、6年生の頃に入学した看護科の後輩たちが卒業を控えていることに気付き、時の流れの速さには驚くばかりです。

さて、現在私は浜松医科大学の小児科で後期研修中ですが、普段働いている中でも様々な場面で浜松医科大学弓道部であった恩恵を受けていることに気付かされます。大学病院では特に実感する機会が多く、同じ小児科内にOBの先輩がいらっしゃったことはとても心強く思えましたし、また、苦慮した症例に関して他科のOB・OGの先輩方にご相談させていただいたことも1度や2度ではありませんでした。交流戦や大会で知り合った友人と偶然学会で会ったり、研修医の頃には他大学出身の同期の研修医と共通の友人がいたためにすぐに仲良くなれたりしたこともありました。また、私の学年は年に2回ほど部活の同期で集まって近況報告を兼ねた食事会(飲み会?)を行っておりますが、その時には学生時代に戻ったかのように、普段とは違った楽しく懐かしい時間を過ごすことができます。

浜松医科大学弓道部に入部してよかった、と心から思います。入部した頃はただ弓道がしたい。それだけでした。しかし、同級生と仲良くなり、佐藤先

生や吉田先生や、様々な先輩方にお世話になり、後輩も増え、多くの人とつながりができていくうちに弓道部はただ単に弓道をする場所ではなくなっていました。そして卒業し、仕事が始まって道場に足を運ぶ機会もかなり少なくなりました。しかしそうであってもなお、部活を通してのつながりは非常に強く、掛け替えのないものであることを実感しています。

最後に、現役部員の皆様へ。これから実習や病院見学、そして仕事などでお会いする機会もあると思います。その際には是非声をかけてください。諸先輩方から受けた恩をpay forwardできるように頑張ります。

それでは、部員の皆様の更なるご活躍を楽しみにしております。

---

浜松医科大学第1外科

清水 瑞穂先輩（平成22年卒）

浜松医科大学弓道部OB・OG・現役部員の皆様、21年度看護科卒の清水瑞穂と申します。現在浜松医科大学付属病院二階西病棟で二年目の看護師として働かせていただいています。

まず、今回このような場で卒業二年目の私が文を書くということはとても恐縮する限りですが、身近な卒業生として現役部員の方に何かしらメッセージを伝えられたらと思い、拙い文になるとは思いますが、精一杯書かせていただきます。

さて、卒業して社会人として働き始め、自分が一番後輩(学生)たちに伝えたいのはなんだろうと考える

と、それは簡単なことなのになかなか上手にできない「あいさつ」だと思いました。挨拶の大切さは誰しもがわかっていて、小さい頃から日常的に行っていることであります。しかし、挨拶の仕方によってはその人の人柄や他人との人間関係に思わぬ障害ができてしまうという場合もあります。私自身も挨拶と言うものの難しさを働き始めて実感させられることが何度もあり、今もどのように挨拶をすべきか考えてしまうことがあります。

『第一印象は大切である』とよく言いますが、私たち看護師はたくさんの新しい患者さんと毎日関わり、挨拶を交わしていきます。自分の受け持ちの患者さんに朝「おはようございます」と挨拶をしたときに、患者さんはそのあいさつから『私』と言う今日の担当看護師の情報を得ようとします。「今日の自分の担当の看護師はどんな人間なんだろう」「自分の悩みを言えるような人間だろうか」。患者さんにとって入院生活は不安と緊張でいっぱいです。その時間の中でできる限り患者さんに安心した生活を送ってもらうために、常に気配りしていくことが大切です。挨拶は一種の気配りでもあるのです。「体調はどうですか?」「何か困っていることはありませんか?」、朝の「おはようございます」という挨拶ひとつでこのようなコミュニケーションをとることもできるのです。

「ありがとうございます」や「すみません」など、挨拶には様々なものがあります。挨拶をすることが恥ずかしかったり挨拶するタイミングがつかめなかったり挨拶しようと思ってもなかなかできない時もあります。しかし、まずは自分から。仕事の忙しさや

自分の気分で挨拶の内容はすぐに変わり、気配りから義務や強制になってしまいます。患者さんへ自分の気持ちを届ける一番の方法は、挨拶を心からすることなのではないでしょうか。相手にきちんと向き合って心を届けられるような挨拶をしていけたらいいなと思っています。そのための挨拶とは・・・と言われると、まだまだ未熟な私は自信を持って答えることができません。しかし、自分の中で①挨拶は自分からする。②自分の顔が相手に見えるようにする(マスクをしていることが多いので)③相手と同じ目線でゆっくりと話す、の3点に気をつけています。皆さんも一度自分のしている挨拶を振り返ってみてはどうでしょうか??

以上、まとまりのない文になってしまい申し訳ありませんが、2階西病棟へ実習などで来る機会がありましたら、心からの挨拶をしていきたいと思っています。それでは、これからも弓道部の皆様が楽しく弓を引き続け、目標に向かって頑張っていけることを祈っています。頑張ってください。

※今年度はOB・OG係から御寄稿をお願いし3人の先輩方が引きうけて下さいました。お忙しい中誠にありがとうございました。皆様からの多くの御寄稿をお待ちしております。

#### OB・OGメールリングリスト

OB・OG係では試合結果やコンパのご案内をメールリングリストにて配信しております。メールリングリストの登録をされていない方は齊藤慈円までご連絡ください。登録案内のメールを送信させていただきます。(齊藤慈円 ; [keizentaru-issei-no-hi@docomo.ne.jp](mailto:keizentaru-issei-no-hi@docomo.ne.jp))

私は新歓の雰囲気が入部を決めました。先輩方は皆さん優しく、だいぶ部活にも慣れてきました。また、西看体では団体経験も積むことができ、大変いい経験になりました。まだ、自分で納得のいく射はできませんが、楽しく、真剣に弓道をしていきたいと思っています。

医学科1年 久保七星

私は大学に入学して初めて弓道をやりました。1つの動きを極める、この武道が自分に合うか心配でしたが、今ではすっかりはまっています。一番大きな影響を与えたのは西医体でした。弓をひく楽しさや先輩方の強い思いを感じ、益々弓道部を好きになりました。これから6年間、頑張っていきたいと思っています。

医学科1年 望月琴美

3年生になり弓道を2年程やってきた事を振り返ると、僕はまだ弓道に本気になれていないとよく思います。弓道部の雰囲気が入部を決めた僕が他の同学より熱心になれないのは当たり前なのですが、でもそんな立ち位置でも楽しめる部活が弓道部なのだと感じました。

医学科3年 夏目貴史

OB・OGの皆様、日ごろより多大なご支援賜り、本当にありがとうございます。僕にとって、今年は非常に苦しい一年でした。5年目になったところで、そうは簡単に行かないところが弓道の楽しさでしょうか。

医学科5年 山本琢己

### 現役部員の声

浜医の弓道部は練習熱心でお互い指導し、皆で強くなるという雰囲気がとても気に入っています。「弓道部に属することは、縦横のつながりを大切にすること」という話をお聞きする度に部活のつながりの強さを感じております。

医学科2年 中村隆一

あっという間の6年間。良い同学、先輩方、後輩にも恵まれ、この部活に入って良かったと心から思える部活が、この弓道部だと思います。あと半年ほどで卒業だと思うとなにやら物寂しいですが、それまではまだまだお世話になります。

医学科6年 高柳文貴

遂に、卒業の年になりました。これまで多くの試合に出場し、緊張感ある中でも楽しく弓を引くことができました。まだまだ最後まで、部活に参加していきたいと思っています。

看護科4年 石川紗知子

### 10月 医大祭

1年生が後夜祭のために励んでいました。模擬店のワッフルも射的も好評でした！



### 11月 しゃちほこ杯

季節の変わり目のなか、1年生が団体戦に出ている様子が印象的でした。



### 11月 東海医歯薬

卒業生の最後の公式戦ということで、去年も花束を贈りました。



### 12月 合宿

愛知県立武道館での合宿の様子です。久しぶりの坐射に苦勞する様子も見られました。



### 1月 三十三間堂

昨年度も1年生が通し矢に参加しました。かじかむ手で弓を引く姿が印象的でした。



### 1月 グラスカップ

恒例の札入れも行い、部員としての自覚も深まったことと思います。



### 2月 岐阜大学交流戦

昨年度に初めて岐阜大さんとの交流戦を行いました。三重大・名大の方も参加してください賑やかな大会となりました。



### 3月 メモリーカップ

卒業生の最後の部内試合となりました。坐射をされた卒業生の姿が印象的でした。



### 3月 追い出しコンパ

卒業生の追い出しコンパでした。去年度卒業の皆様方、これからもよろしくお願いします。



### 3月 卒業式

平成23年度の卒業式が行われました。卒業の晴れ舞台は皆さんバッチリと決まって凛々しかったです。



### 3月 春季県下

3月の締めくくりともいえる年度最後の大会でした。卒業生が個人戦優勝を果たすなど有終の美を飾る姿が印象的でした。



### 4月 新入生勧誘

新歓遠足でアクティ森へ行きました！



#### 4月 新歓コンパ

1年生が22人も入ってくれて大賑わいの新歓コンパとなりました。



#### 4月 静岡理工科大学交流戦

1年の初めの交流戦で、入ったばかりの新入生も介添えとして参加しました。



#### 6月 東国体

豊川市の道場で行われました。天候は怪しい状態が続きましたが、結果を残すことができ、浜医を印象付けることができましたと思います。



#### 6月 中部ブロック

年度初め最初の公式戦ということで、部員が一丸となって試合に挑みました。



#### 7月 夏季県下

1年生が団体戦デビューしました！平成22年卒の齋藤さんも応援に来てくださいました！



#### 7月 山梨大学交流戦

山梨大学で行ったため集合時間が早く、体調を崩すものも多かったですが楽しい交流戦となりました。



#### 7月 BBQ

新歓の締めくくりということで、天竜川の上流にBBQに行きました！夜は花火にも行ったのでへとへとでした。



#### 8月 西医体

大阪で西医体が行われました。看護科の方々も22年卒の齋藤さんも応援に来て下さり、熱い夏となりました。来年度の西医体は岡山で行われます。(右が西医体の写真)

#### 8月 西看体

鳥取県立武道館でおこなわれ、交通の便が不自由で天候にも恵まれませんでした。団体戦3位という功績を残すことが出来ました。



#### 10月 幹部交代コンパ

おしゃれなカフェで幹部交代コンパをしました。引退される方々の分もこれから一層頑張りたいと思います。



最右が前主将の篠原慧 (医学科4年)

#### 10月 藤保・愛知医三校戦 (三校戦)

今回は合同交流戦ということで藤保、愛知医交流戦を藤保さんの道場で行いました。



三校戦での現主将の桐戸雄紀 (医学科3年)



## —試合結果—

### 東海医歯薬学生弓道大会 (10. 11. 27~28)

#### 【男子個人戦】

鈴木利章 (医学科 5年) 準優勝  
齊藤慈円 (医学科 2年) 第4位  
坂本大地 (医学科 5年) 第5位  
平井大也 (看護科 4年) 第6位

#### 【女子個人戦】

鈴木藍 (看護科 2年) 第3位

#### 【優秀射技賞】

本多里美 (看護科 4年)

### 静岡県下学生弓道大会春季大会 (11. 3. 20)

男子団体A 準優勝  
男子団体B 第3位  
女子団体A 優勝  
女子団体B 準優勝  
女子団体E 第3位

#### 【男子個人戦】

中井省吾 (医学科 1年) 優勝  
鈴木利章 (医学科 5年) 第3位

#### 【女子個人戦】

近藤恭子 (看護科 4年) 優勝  
蔭山 静 (医学科 4年) 準優勝  
片山舞子 (看護科 2年) 第4位

### 中部ブロック医科学生弓道大会 (11. 6. 11~12)

男子団体 第3位

#### 【女子個人戦】

石川紗知子 (看護科 4年) 優勝  
東 夏美 (医学科 2年) 第5位

#### 【優秀射技賞】

乾 航 (医学科 3年)

### 東海地区国立大学体育大会 (11. 6. 18~19)

男子団体 3位

#### 【男子個人戦】

乾 航 (医学科 3年) 第3位

#### 【女子個人戦】

東 夏美 (医学科 2年) 準優勝

### 静岡県下学生弓道大会夏季大会 (11. 7. 10)

男子団体B 準優勝

女子団体A 第3位

#### 【男子個人戦】

乾 航 (医学科 3年) 優勝

鈴木利章 (医学科 6年) 第5位

#### 【女子個人戦】

鈴木 藍 (看護科 3年) 優勝

石川紗知子 (看護科 4年) 第3位

蔭山 静 (医学科 5年) 第4位

### 西日本医科学生体育大会弓道部門 (11. 8. 9~12)

男子団体 (120射66中) 第5位

女子団体 (60射23中)

### 西日本看護学生弓道選手権大会 (11. 8. 17~19)

団体A (60射34中) 第3位



乾航選手  
(3年)

## 昇段審査結果（2010年9月～2011年10月）※1

### 9月 県連定期審査（静岡市・武道館）

弐段 片山舞子（看護科2年）  
加藤佑季（医学科2年）  
四段 小松和幸（医学科6年）

### 10月 西部地区（浜松市弓道場）

初段 東夏美（医学科1年）  
伊藤将一朗（医学科1年）  
岩本麗音（医学科1年）  
大竹正紘（医学科1年）  
櫻井史紀（医学科1年）  
佐々木うらら（医学科1年）  
中井省吾（医学科1年）  
中村隆一（医学科1年）  
山田裕（医学科1年）  
弐段 齊藤慈円（医学科2年）  
参段 依田在理（医学科2年）  
四段 山本琢己（医学科4年）

### 11月 中部審査（静岡市・武道館）※2

初段 佐々木駿（医学科1年）

### 2月 県連定期審査（静岡市・武道館）

弐段 角替麻里絵（医学科2年）

### 3月 西部地区（佐久間）

弐段 東夏美（医学科1年）  
伊藤将一朗（医学科1年）  
岩本麗音（医学科1年）  
大竹正紘（医学科1年）  
櫻井史紀（医学科1年）  
中井省吾（医学科1年）  
中村隆一（医学科1年）  
参段 飯田雅博（医学科2年）  
内山哲（医学科2年）  
齊藤慈円（医学科2年）

### 5月 中部地区審査（静岡市・武道館）

参段 蔭山静（医学科5年）

### 10月 西部地区（浜松市弓道場）※3

初段 渥美友里（看護科1年）  
石川駿（医学科1年）  
井出早紀（医学科1年）  
岡崎綾女（看護科1年）  
長田祥子（医学科1年）  
金崎大輝（医学科1年）  
河上明日香（医学科1年）  
菊池優志（医学科1年）  
久保七星（看護科1年）  
齋藤有沙（医学科1年）  
武田昌大（医学科1年）  
千森瑛子（医学科1年）  
中村尚紀（医学科1年）  
根本玲那（医学科1年）  
野島悠有（医学科1年）  
濱本希（医学科1年）  
藤井里奈（看護科1年）  
宮澤麻美（医学科1年）  
望月琴美（医学科1年）  
藁科舞（医学科1年）

弐段 佐々木駿（医学科1年）  
佐々木うらら（医学科2年）  
山田裕（医学科2年）

参段 岩本麗音（医学科2年）  
大竹正紘（医学科2年）  
中井省吾（医学科2年）

四段 齊藤慈円（医学科3年）

※1 学年はすべて昇段当時のものを記載しております。

※2 2010年11月までに昨年の1年生が全員初段以上を取得しました！！

※3 2011年10月までに現在の1年生が全員初段以上を取得しました！！

## 行事予定

10月 8日 藤保・愛知医 三校戦	3月中旬 メモリーカップ
10月 23日 西部地区審査	4月下旬 春のイソップ・竹山杯
11月 5日 しゃちほこ杯	6月下旬 第61回東海地区国立大学体育大会(主管校)
11月 19日 第42回東海医歯薬学生弓道大会	6月下旬 第49回中部ブロック医科学生弓道大会
12月中旬 グラスカップ	7月中旬 第11回静岡県下学生弓道選手権夏季大会
12月中旬 冬のうなぎ杯	7月下旬 山梨大学交流戦
12月中旬 合宿	8月中旬 第64回西日本医科学生総合体育大会
3月上旬 第11回静岡県下学生弓道選手権春季大会	8月下旬 第8回西日本看護学生弓道選手権大会

※予定は10月末現在のものなので変更する可能性があります。ご了承ください。

## 会費・決算報告について

OB・OGの皆様にはOB・OG会費納入のご協力をお願いしたいと思います。詳細は別紙をご参照ください。前年度の決算報告も別紙に記載させていただきました。昨年度も多くのご援助、誠にありがとうございました。

## PDFファイルについて

本年度はカラーページも多いため、より良いものにするためホームページからダウンロードをできるように致しました。個人情報などを多く含むため、パスワードがかかっていますので後日OB・OGメーリングリストにてパスワードを配信させていただきます。よろしくお願い申し上げます。

### 編集後記

朝夕の温度差が厳しい季節となっておりますが、ますますご健勝のことと申し上げます。

昨年度と同様に今年も幹部交代に合わせてOB・OG会報誌を発行させて頂きました。

今年度は現在の弓道部の雰囲気を知って頂きたく、より読みやすく見やすい会報誌を作ったつもりであります。中でも、構成・コラムの工夫が一番苦労をいたしました。この会報誌がOB・OGの皆様により親しみやすいものとなりましたら幸いです。

私、齊藤慈円がOB・OG係を江上貴俊から引き継がせて頂きましたが、これからも皆様とのつながりをより一層深めるために邁進していきますので、本年度も倍旧のご支援のほどお願い申し上げます。

OB・OG係

江上貴俊 飯田雅博

齊藤慈円 角替麻里絵